

三七七二  
明和九年四月 勢多郡小暮村ほか二カ村の高松堰分水証文

[B]

一札之事

一 小暮村白川高松堰せき分水之儀、此度御尋あそばされ被遊候(間カ)旨委細申上候、  
右之分水之儀者、先年レ夜之一ノ酉レ暮六ツ時迄、分水ニ而  
小暮村江引来り申候、暮六ツ時レ夜之一ノ酉「迄者、分水ニ而  
原ノ郷江引来り申候、右原ノ郷江」引来り刻限之内、小沢新田  
江水引而茂、刻限之内ニ有レ之候者、於ニ小暮村ニ一向差障  
之儀」申者、尅人茂無ニ御座候、永々為シ証拠之ニ」村役人共一札  
入置申候、以上

中通小暮村

長百姓おとなびやくしやう

明和九年辰四月

常右衛門 印

組頭

九右衛門 同

同

藤右衛門 同

同

左市右衛門 同

同

伝左衛門 同

名主

七右衛門 同

(後略)